

種行事・サークルなどを掲載し、参加を促しています。

また、地域の絆づくり事業については、世代間交流を目的に各地区で交流などに必要な費用を補助しています。

この事業の令和3年度の実績では、31地区すべての区で事業を実施され、道路、公園、水路、公民館の草刈り・清掃などをされています。

教養講座開催活動では、認知症サポーター養成講座、防災研修会など、健康増進活動では、いきいき百歳体操、ラジオ体操、スカットボール大会、グラウンドゴルフ大会を開催され、それぞれの事業に子どもから高齢者まで大勢の人が参加し、交流をされています。

②地域の絆づくり事業については、コロナ禍ということもあり、苦慮されながらも、活動をしていただいています。

令和3年度の実績では、すべての地区で地域の絆づくり事業を実施されていますが、熱中症緊急対策事業

「クールシェア」は、コロナ禍の感染対策などの理由から実施されるところが少なく、8地区での実施となっています。

大町町の観光資源について 山下 淳也

議員 9月23日に九州長崎新幹線が武雄市から長崎市まで開通しました。

コロナの影響からも回復の兆しが見え始め、10月より旅行支援も再開され、多くの人が佐賀県西部地区へと訪れられています。

このチャンスを機に大町町にも足を運んでもらえるようPRなどすべきではないでしょうか。人口が減少する現在、観光による交流人口の増加は町の大きなメリットだと思っています。現在、大町町の観光としてどのようなものがあるのでしょうか。そのPRなどに関してどのようにされているのですか。

そして、今後人を呼び込むために観光資源開発の考えは

あるのかをお尋ねします。

町長 ご存じのとおり、武雄温泉駅から長崎駅間が新幹線区間となりますが、この新幹線に乗り入れるために、博多駅から武雄温泉駅まではリレー特急かもめが運行をされます。

しかし、ほとんどの特急は大町駅を通過します。ただ、乗降はできませんが、大町駅に停車する特急が3便ありますので、大町町を知っていただく、あるいは興味を持っていただくことを目的に、線路側、国道側、どちらからも見ることできる大型PR看板を設置するため、設置に向けた準備を進めているところです。

また、駅のホームにもPR看板を以前から設置しており、これを新たなものに取り換えができませんか、現在JRと協議をしています。新幹線にこだわらず、大町町は佐賀県のほぼ中央に位置し、車を使うと鳥栖市や唐津市まで約1時間で行ける距離にあり、通勤・通

学に大変便利な位置にあります。

グルメも、大町名物たるめんもありますし、呼子のイカや長崎の中華、柳川のうなぎ料理など、全国に有名なご当地グルメも1時間ほどで食べに行けることも県の中央に位置する大町町の特徴だと思っています。

また、町内には聖岳、楠の群生林をはじめ、浦田自然公園やボタ山わんぱく公園など、自然豊かな景観が優れた地域資源もあり、交流資源としては、おおまち情報プラザ、大町温泉ひじり乃湯のほか、ふるさと大町納涼まつり・花火大会、絆サンマ祭りといったイベントがあります。

今後は、さらに町のホームページやSNS、メディアを使って広く周知することや、町の観光パンフレット、ポスターなどを駅や商業施設などに置くなど、PRの強化を図り、町の情報発信に努めたいと考えています。

人を呼び込む、交流人口を増やすということでは、「町有地を活用した新たな魅力づくり」を目的としたサウンディング市場調査により、民間事業者のアイデアを募集したいと思っています。

わたしも、大町のソウルフード「たるめん」をはじめ、地域資源、交流資源、共にPR不足を感じており、さらにPRを強化し、今あるもの、「大町町の財産、資源」を最大限かつ有効に活用し、形にしていきたいと考えており、災害での遅れを取り戻すべく、職員共々頑張つていきます。

町民参加条例の制定は 鶴崎 敏彦

議員 10月27日に愛知県岩倉市を議会で行行政視察を行い、市民参加条例を勉強させていただき、非常に素晴らしい条例だと感心させられました。「市民の意見を広く市政に反映させること」協同によるまちづくり